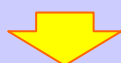


注目ポイント！

最上川の美しい自然や、沿川の魅力的な場所を「フットパス」でつなぎ、歩き主体の観光ルートを設定。

まちなかのフットパスも設定。歴史や文化を体感できるようにした。



「歩く観光」で誘客が、約73,000人から約91,000人に増加！
(平成14年) (平成17年)



最上川のフットパスを散策

コラム

青木氏が帰郷した4年前の長井は、山形県内最悪の空き店舗率のなか、市民ギャラリーや蔵美術館が相次いで閉館し、衰退の様相を呈していた。そんな状況の下、長井のまちの原点といえる、最上川の大自然や水辺空間と、舟運文化遺産、歴史的建築、食文化を、フットパス(歩行者用の小径)でつないでいく構想に、志を持った若手を中心にして官民が結集した。市民主体のイベント開催や、水路や蔵などの環境・景観改善、商店街のおもてなしの努力によって、衰退打開にむけた確かな手ごたえを感じ始めている。

これまでの経緯

- 平成11年(1999) 第1回もとまち青空フェスティバルが開催される。
- 平成15年(2003) ながいフットパスワーキンググループが発足する。映画「スウィングガールズ」ロケ始まる。第1回ながい雪灯り回廊まつりが開催される。
- 平成17年(2005) 「ながいフットパスワーキンググループ」を「ながいフットパス推進会議」に名称を変更する。ながいフットパスガイドmap並びに案内看板を作成する。
- 平成18年(2006) 全国フットパスシンポジウムinながいが開催される。



長井まちづくりNPOセンター事務局長 青木 孝弘氏

主な取り組み

充実の「満喫10コース」～フットパス～

「最上川発祥の地」の長井は、その昔、最上川の舟運により商業で栄えたまちで、昔なつかしい日本の風土を感じることができる。そんな美しい最上川とまちなかを結ぶ歩き楽しむこみち”フットパス”は、魅力的な観光ルートを観光客に提供。

本当の魅力を徒歩でゆっくり楽しんでもらうため、美しい川辺やまちなみ、せせらぎ水路、蔵、桜の名勝などを結ぶ10通りのフットパスコースを市民組織「フットパス推進会議」が提案。歩く楽しさを一層引き出す工夫として案内標識や木道・飛び石も設置。



飛び石の整備

フットパスの魅力をランタンで演出

毎年7月には市民団体、NPO、商店街、行政が協力して「ながいランタンマーケット」を開催。フットパスコースの一部にも約1,000個のランタンを配して、幻想的な夜を演出。

また、通年誘客を目指し、冬季には毎年「雪灯り回廊まつり」を実施。まちなかフットパスにも約2,000個のスノーランタンを灯し、厳しい雪国の夜を市民による手づくりで楽しむ様々なイベントを各施設で開催。

雪灯り回廊まつり



ランタンマーケット

もとまち青空フェスティバル

まちなかに市民を呼び戻そうと地元商店街・商工会議所主催で毎年9月下旬～10月初旬の日曜日に開催。幼稚園から大人までの音楽(吹奏楽)を中心とした商店街活性化イベント。会場はフットパスの一部で参加者は地域の魅力を再確認。



フェスティバル

映画「スウィングガールズ」でロケ地に

2004年9月公開映画「スウィングガールズ」のロケ地の一つになったため、市民有志が応援隊を組織しファンを受け入れ。商工会議所では写真やサインの展示コーナーを設置。山形鉄道「フラワー長井線」では、映画イメージの車体デザインや、ガイドがロケ地等を説明する“スウィングガールズ列車”を運行。地域一丸で盛り上げた。



スウィングガールズ列車

問い合わせ先

長井市商工観光課観光係

Tel : 0238 - 84 - 2111

<http://www.city.nagai.yamagata.jp/>